

「建築知識 2024 年 2 月号」

下記の誤りがございました。読者の皆様には大変ご迷惑をおかけいたしました。お詫びして訂正させていただきます。

P50 表 1

誤：

樹種 [※3]	ベイマツ	スプルー・オウシュウアカマツ	カラマツ	スギ+ベイマツ (ハイブリッドビーム)	特定対称異等級
JAS等級 (対称異等級構成)	E120-F330 [※4]	E95-F300 [※4]	E105-F270 [※4]	(例) E120-F330	(例) ME120-F330
ヤング係数(kN/mm ²)	12.0	9.5	10.5	12.0	12.0
曲げ強さ(N/mm ²) [※5]	33.0	27.0	30.0	33.0	33.0
圧縮強さ(N/mm ²) [※5]	25.9	21.7	23.2	25.9	20.2
引張り強さ(N/mm ²) [※5]	22.4	18.9	20.2	22.4	17.6
最低ラミナ等級	L90	L70	L80	L50	L30
国産材比率	0	0	100	60~75	50~75

正：

樹種 [※3]	ベイマツ	カラマツ オウシュウアカマツ	カラマツ スプルー	スギ+ベイマツ (ハイブリッドビーム)	特定対称異等級
JAS等級 (対称異等級構成)	E120-F330 [※4]	E105-F300 [※4]	E95-F270 [※4]	(例) E120-F330	(例) ME120-F330
曲げヤング係数(kN/mm ²)	12.0	10.5	9.5	12.0	12.0
曲げ強さ(N/mm ²) [※5]	33.0	30.0	27.0	33.0	33.0
圧縮強さ(N/mm ²) [※5]	25.9	23.2	21.7	25.9	20.2
引張り強さ(N/mm ²) [※5]	22.4	20.2	18.9	22.4	17.6
最低ラミナ等級	L90	L80	L70	—	L30
国産材比率	0	100/0	100/0	—	—

P50 図 3 左テキスト

誤：～前者は主に梁として、後者は主に柱や土台として用いられる

正：～後者は主に梁として、前者は主に柱や土台として用いられる

P50 欄外※4

誤：～ヤング係数 (たわみにくさの指標) を表す E と、

正：～曲げヤング係数 (たわみにくさの指標) を表す E と、